



教務室に置かれた扇風機。エアコンの使用を極力控えることで、講師陣も節電に協力しています。

## あじけん「せ・つ・で・ん」への取組み

例年よりも早く梅雨入りを迎え、あじけんにもじめじめとした湿気の多い季節がやってきました。そんな中、本センターでも、「電力消費 25%削減」を目標に、「せつでん」への取組みがスタートしました。そこで今回のあじけん通信は、これまでお届けしていた「あじけん講師ファイル」を一度お休みさせて頂き、あじけんが実習生の皆さんと一丸となって実践している「せつでん」への取組みをご紹介します。ぜひご協力をお願いします。

### せつでん その1

これまで半年毎に行なっていたエアコンのフィルター掃除を、1週間に1回行なうことになりました。寮のエアコンも週末に掃除してもらっています。設定温度は 28 度！にも協力してもらっています



### せつでん その2



寮や教室の電気器具は、未使用時にはコンセントを抜く習慣をつけてもらうことで、節電に協力してもらっています。

### その他の取組み

1. 入寮時のオリエンテーションにおいて、今夏の東日本における「せつでん」の必要性を説明し、実習生の皆さんにも節電への御協力を要請。
2. 玄関・階段の電球を全てLEDに交換。
3. クールビズの導入を例年より早い5月9日から開始。10月15日まで実施予定。
4. 寮の南側にグリーンカーテンの設置を検討中。
5. 消費がピークを迎える7月からの授業時間の前倒し(30分~60分)を検討中。

# あじけん流日本語授業

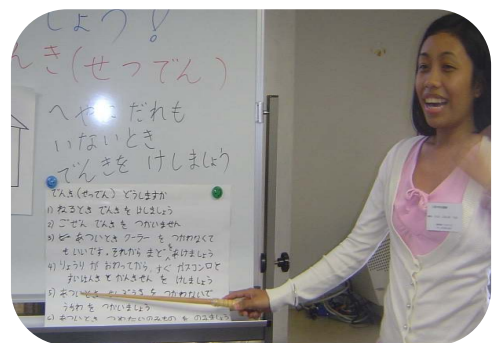
## ～「せつでん」をテーマにしたグループワーク～

今回のあじけん流日本語授業は、今月号のテーマ「せつでん」をキーワードに行なわれたグループワーク形式でのディスカッション活動の様子をお届けします。

この活動で実習生のみなさんは、「せつでんのために、じぶんたちができること」をテーマにグループ内で意見を出し合いました。このグループワーク形式のディスカッション活動は、学習者一人一人に出来るだけ多くの発話機会を与えることが出来るため、特に10名以上の大人数クラスで頻繁に取り入れられている活動です。しかしながら、日本語で自分達の考えを出し合うことは、初級レベルの実習生のみなさんにとって、決して容易な言語活動ではありません。そこで、本センターでは、通常、比較的習得語彙数が多く、発話力もある程度備わっているクラスを対象に行なわれています。



講師のアドバイスを参考に、実習生同士で意見を出し合い、意見は発表用も模造紙にまとめます。



各グループの代表者が前へ出て、話し合いの内容をレポート。クラス全体で各グループのアイデアをシェアします。



私達の国、フィリピンでも、節電についての考えがたくさんあるので、みんなでいろいろなアイデアを出す事が出来ました。このアイデアを活かして、日本の節電に是非、協力したいと思います。

フィリピン共和国・セブ出身  
CHARINN ITUM PLAZA (チャリンさん)